KNT―CTパートナーズ会総会特集

「共生と共創」で新たなステージに

KNT―CTパートナーズ会
堀　恭則会長
※5月30日付で会長就任予定

総会記念特別対談

近畿日本ツーリスト協定旅館ホテル連盟と近畿日本ツーリスト全国ひまわり会、クラブツーリズムパートナーズ会が解散し、宿泊施設と運輸会社、観光施設が一体化した新組織、KNT―CTパートナーズ会の設立総会が5月30日、東京・白金台のシェラトン都ホテル東京で開かれる。約4千の会員を擁する大組織の会長に就任予定の堀恭則近旅連中部連合会会長（ひだホテルプラザ会長）とKNT―CTホールディングス（HD）の丸山隆司社長に新組織への期待や2019年度の取り組み、両者の関係強化にかける思いなどを語っていただいた。

（4月24日、東京・新宿のKNT―CTHD本社で。司会は論説委員の内井高弘）

KNT―CTホールディングス
丸山　隆司社長

地域交流事業で収益を
3組織の一体化が不可欠
ふっこう割が寄与

新組織への期待
18年度を振り返って

――新しい組織、KNT―CTパートナーズ会についてどう認識しているか。

丸山　OTA（オンライントラベルエージェント）の台頭など、総合旅行業（リアルエージェント）を取り巻く環境が大きく変化している中で、当社は地域交流事業全体で収益を上げるビジネスモデルへの転換を図っている。そのためには宿泊施設だけでなく観光施設や運輸会社、さらに地方自治体、DMO、観光協会・連盟などと一体となった事業展開をしていく必要がある。それを踏まえ、個人旅行事業においては宿泊施設だけでは消費者ニーズに対応できなくなっており、今回、旅連、ひまわり会、パートナーズ会の皆さんにご無理をいって新しい組織を作っていただいた。会社的にはもちろん、個人的にも新組織への期待は極めて大きい。

――その組織のトップに堀さんが就任する。現在、旅連の中部連合会会長であるが、今後はどのようになるのか。

堀　今年の総会で会長職を辞任し、新組織に専念することになる。中部連合会は新しく組織されるKNT―CTパートナーズ会の東海と北陸の二つの組織に分かれ、会長は東海が野尻辰彦さん（穂高荘山のホテル）、北陸は萬谷正幸さん（山代温泉・瑠璃光、葉渡莉）が務めることになりそうだ。

■　■

――所帯も大きくなり、どうかじを取っていくのか、いろいろ大変だと思う。プレッシャーは感じているか。

堀　非常に感じている（笑い）。旅連であれば長らく役員をしていたので会社との関係や旅連内部のことはよく分かっているが、新組織は業態が異なる約4千の会員で構成される。勝手が違うが、会社と今まで以上に連携し、ウィン・ウィンの関係を構築したい。テーマは「共生・共創」だと思う。共に生きて共に創りあげ、新しい時代に生き残っていけるよう、誠心誠意努めていく。

丸山　堀さんがご指摘された共生・共創はまさしくその通りで、近畿日本ツーリスト（KNT）の営業力とクラブツーリズム（CT）の企画力、集客力を融合させることで新組織の期待に応えていきたい。

――地域交流事業の核となるのは。

丸山　いま着地型商品、特にテーマ性のあるものについて企画力、造成力を高める取り組みを行っている。宿泊施設だけではなく、地域ならではの観光素材を取り入れた商品の開発だ。例えば、堀さんの地元・高山では有名な「高山祭」があるが、それ以外にも魅力的な素材がたくさんある。眠っている素材もあるだろう。それらを発掘し、組み合わせ、着地型商品として提供する。新組織の皆さんにはそうした情報をぜひ教えていただきたい。一緒になって着地型商品を造りあげていく。

堀　会社に対して役に立つ情報をどう提供していくかが新組織の課題でもある。私は、観光業は人と人のつながりがとても重要だと思っている。宿は、まさしく人を相手にする商売であり、お客さまが何を求めているか、どうすれば喜んでいただけるかを常に考えている。これは旅行会社も同じではないだろうか。新組織は人と人のつながりを大事にし、会社は何を求めているのかを常に念頭に置いて、行動していきたい。

――2018年度はKNT―CTHDにとってどんな年だったか。

丸山　強く印象に残っているのは自然災害の多さだ。旅行業にとってはマイナス材料で、上半期は直接的な影響を受けた。予約のキャンセルが相次ぎ、その処理だけでも大変だった。順調に推移していただけに残念だ。下半期で取り戻そうと社員一丸となって取り組み、おかげさまで売り上げも順調に伸びた。特に、「ふっこう割」が大きかった。これがなければしんどかったと思う。

――堀さんのところも大変だった。

堀　7月の集中豪雨でJR高山線が止まるなど大きな被害が出た。宿泊客も減少し、厳しい数字となった。こればかりは予想ができない。丸山社長もおっしゃられたが、ふっこう割がなかったらもっと厳しい状況だった。

――18年度の決算はどうだったか。

丸山　売上高4118億円、営業利益25億3千万円、経常利益28億3千万円、15億6千万円の特別損失を計上し、当期純利益は12億7千万円となった。

今まで以上に連携を
会社に有益な情報提供
人のつながりを大事に

夢と感動の旅、私たちとともに…。

全国 4000 会員の KNT-CT パートナーズ会は
旅館ホテル・運輸機関・観光施設が力を合わせ
三位一体となり頑張ります

近畿日本ツーリスト
仲間が広がる、旅が深まる
クラブツーリズム

KNT-CT パートナーズ会
〒163-0239
東京都新宿区西新宿 2-6-1　新宿住友ビル 39 階
TEL：03-5325-8541
FAX：03-5325-8563